

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第803回）  
中国電力株式会社に関する指摘内容

令和元年11月29日  
原子力規制庁  
新基準適合性審査チーム

【コメント回答】

- 炉心損傷に備え、炉心損傷前における外部水源を用いたCVスプレイを極力控えるとする考え方について、炉心損傷前と炉心損傷後に分けて、ベント戦略全体（実施及び停止の判断基準並びに希ガスの影響を含む。）とその妥当性を整理して説明すること。
- 耐圧強化ベントの配管ルート等について詳細に示すとともに、高低差及び枝管も含めて水素対策や凝縮水の滞留対策等を説明すること。
- R C I Cの第一水源をC S TからS / Pへ変更する理由について、水位設定値を変えた場合のC S Tの水量とC S Tを水源とした場合の影響評価の関係を説明すること。
- 逃がし安全弁の解析条件としてT B、T Wシーケンスで最も厳しい逃がし安全弁2弁開で評価するとしていたことを踏まえ、2弁開の条件での影響についても説明すること。
- I S L O C A発生の評価条件として、操作場所及びアクセスルートに対し、蒸気や漏えい水の回り込みの影響について、定性的な説明ではなく、系統ごとに漏えいの発生箇所とエレベーションも含め図面等を用いて定量的に説明すること。また、I S L O C A検知手段として、検知設備の設置状況や検知性能を踏まえた検知手段の成立性を示すとともに、温度検知器とエリアモニタがないエリアについての漏えい検知、I S L O C Aの総合的な判断とは具体的に何をするのか手順を説明すること。
- L O C A時注水機能喪失と崩壊熱除去機能喪失時の輪谷貯水槽から給水時間の相違点について、原子炉注水の考え方も踏まえて説明すること。
- 急速減圧により下部プレナム部にC C F Lによりボイドが形成されるが、ボイドが存在する期間（C C F Lが継続する期間）及び燃料棒への影響について

て説明すること。

- 原子炉水位計について、差圧から水位に直す時の換算式やM A A Pの解析結果及び温度計の配置、型式等を含め基本的な内容を資料としてまとめ説明すること。

#### 【その他】

- 審査資料は、基本的に誰が読んでも理解ができるようにするため、記載の考え方や記載方法（水位の表現等）を共通でレビューする者（コアメンバー）を定めて品質管理、工程管理体制を構築し対応すること。
- S Aに限らず島根原子力発電所2号機の新規制基準の審査全体に対する、これまでの指摘事項及び対応方針を整理した上で、それらに対する回答資料の作成及び提出、ヒアリング時期等を踏まえて、今後の審査に関する現実的な工程を説明すること。

以上